



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月31日

上場会社名 株式会社FJネクストホールディングス 上場取引所 東
コード番号 8935 URL <https://www.fjnext-hd.co.jp>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）肥田 恵輔
問合せ先責任者（役職名）常務執行役員 管理本部長（氏名）山本 辰美 TEL 03-6733-7711
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	40,236	27.8	5,683	88.0	5,671	89.0	3,912	90.2
2026年3月期第1四半期	31,494	31.8	3,022	136.4	3,001	136.1	2,057	143.4

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 3,874百万円（88.5％） 2026年3月期第1四半期 2,055百万円（152.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	119.46	—
2026年3月期第1四半期	62.85	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	115,849	83,757	72.3	2,557.30
2026年3月期	113,869	81,127	71.2	2,477.00

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 83,757百万円 2026年3月期 81,127百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	28.00	—	38.00	66.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	40.00	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2026年3月期期末配当の内訳 普通配当28円00銭 特別配当10円00銭

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	152,000	6.8	15,000	4.2	15,000	4.5	10,500	4.9	320.59

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年3月期1Q	34,646,500株	2026年3月期	34,646,500株
2027年3月期1Q	1,894,315株	2026年3月期	1,894,315株
2027年3月期1Q	32,752,185株	2026年3月期1Q	32,731,385株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢・所得環境の改善や、各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、金融資本市場の変動の影響に加え、中東情勢をはじめとする地政学リスクの高まりなどによる不透明な先行きが、我が国の景気を下押しするリスクに引き続き留意する必要があります。

首都圏のマンション市場においては、2026年上半期（1～6月）のマンションの新規供給戸数は前年同期比0.8%減の7,989戸に留まりました。また、購入需要についても、同期間の平均初月契約率が64.8%と、好調の目安と言われる70%を上期では3年連続下回るなど、高値圏が続く販売価格に対し、消費者の慎重な姿勢が継続しております。（数字は株式会社不動産経済研究所調べ）

当社グループの主要事業領域である資産運用型分譲マンション市場においては、単身者を中心とした首都圏の賃貸需要は底堅く、購入需要についても、安定した収益が期待できる運用商品として認知度が高まっているほか、金融環境の下支えもあり、堅調な状況が続いているものと認識しております。

このような経営環境のもと、当社グループは、首都圏において、資産運用としての多彩なメリットを提供する単身者向けの資産運用型自社ブランド「ガーラマンションシリーズ」及びファミリー層向け自社ブランド「ガーラ・レジデンスシリーズ」の開発を進め、活況な中古マンション市場への適応、顧客サポート体制の充実やブランド力の強化を図ることで、グループ企業価値の向上に尽くしてまいりました。

こうした結果、売上高402億36百万円（前年同四半期比27.8%増）、営業利益56億83百万円（前年同四半期比88.0%増）、経常利益56億71百万円（前年同四半期比89.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益39億12百万円（前年同四半期比90.2%増）となりました。

(不動産開発事業)

「ガーラ・パークサイド亀戸（2026年3月竣工）」、「ガーラ行徳グランドステージ（2026年5月竣工）」、「ガーラ・レジデンス船堀ブライト（2026年4月竣工）」などの新築マンションの販売に注力するとともに、中古マンションの販売も積極的に行なってまいりました。

当第1四半期連結累計期間における新築マンション売上高133億50百万円（386戸）、中古マンション売上高205億28百万円（670戸）、不動産賃貸収入17億11百万円、その他収入1億42百万円となり、不動産開発事業の合計売上高は357億33百万円（前年同四半期比28.1%増）、セグメント利益51億76百万円（前年同四半期比94.7%増）となりました。

売上高等内訳

区分	前第1四半期連結累計期間 自 2025年4月1日 至 2025年6月30日			当第1四半期連結累計期間 自 2026年4月1日 至 2026年6月30日		
	戸数 (戸)	金額 (百万円)	前年 同四半期比 (%)	戸数 (戸)	金額 (百万円)	前年 同四半期比 (%)
ガーラマンションシリーズ	211	5,756	—	339	10,822	188.0
ガーラ・レジデンスシリーズ	1	47	—	47	2,528	—
中古マンション	726	20,457	104.3	670	20,528	100.3
不動産賃貸収入	—	1,503	100.6	—	1,711	113.8
その他収入	—	134	120.6	—	142	105.8
合計	938	27,899	131.5	1,056	35,733	128.1

(注) マンション販売は、顧客への物件引渡しをもって売上が計上されます。そのため、物件の竣工や引渡しのタイミングにより四半期ごとの業績に偏重が生じる傾向があります。

(不動産管理事業)

自社グループ開発物件の新規管理受託や外部受注等を進め、賃貸管理戸数は20,447戸、建物管理棟数は389棟(26,641戸)となりました。

当第1四半期連結累計期間における不動産管理事業の売上高は11億31百万円(前年同四半期比6.4%増)、セグメント利益2億46百万円(前年同四半期比13.3%減)となりました。

(建設事業)

主力のマンション建設は、工事件数の増加及び大型案件の受注比率上昇により売上、利益ともに前年を上回って推移しました。

当第1四半期連結累計期間における建設事業の売上高は30億65百万円(前年同四半期比36.4%増)、セグメント利益3億7百万円(前年同四半期比135.3%増)となりました。

(旅館事業)

台風等の天災による影響を一部受けたものの、宿泊者数は堅調に推移し、売上についても前年を上回りました。

当第1四半期連結累計期間における旅館事業の売上高は2億95百万円(前年同四半期比7.9%増)、セグメント損失54百万円(前年同四半期は54百万円の損失)となりました。

(その他)

当第1四半期連結累計期間の売上高は10百万円(前年同四半期比7.3%増)、セグメント利益6百万円(前年同四半期比14.0%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,006億53百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億55百万円増加いたしました。主な増加は、現金及び預金66億20百万円、仕掛販売用不動産27億12百万円、受取手形、営業未収入金及び契約資産13億88百万円であり、減少は販売用不動産87億37百万円であります。固定資産は151億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億74百万円減少いたしました。

この結果、総資産は1,158億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億80百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は163億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ64百万円増加いたしました。主な増加は、1年内返済予定の長期借入金16億円、未払消費税等6億円であり、減少は未払法人税等15億53百万円、支払手形及び買掛金6億1百万円であります。固定負債は157億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億14百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が7億50百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は320億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億49百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は837億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億30百万円増加いたしました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益39億12百万円であり、減少は剰余金の配当12億44百万円であります。

この結果、自己資本比率は72.3%(前連結会計年度末は71.2%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきましては、2026年5月12日発表の「2026年3月期 決算短信」に記載の予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,740	32,361
受取手形、営業未収入金及び契約資産	6,048	7,436
有価証券	—	99
販売用不動産	25,431	16,693
仕掛販売用不動産	39,281	41,994
未成工事支出金	27	11
原材料及び貯蔵品	35	39
前渡金	343	376
その他	1,591	1,641
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	98,498	100,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,023	9,042
減価償却累計額	△2,340	△2,410
建物及び構築物（純額）	6,682	6,631
土地	6,243	6,320
その他	513	521
減価償却累計額	△427	△436
その他（純額）	85	84
有形固定資産合計	13,011	13,036
無形固定資産	30	29
投資その他の資産		
投資有価証券	503	367
繰延税金資産	795	704
その他	1,038	1,066
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	2,328	2,129
固定資産合計	15,370	15,195
資産合計	113,869	115,849

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,878	3,276
1年内返済予定の長期借入金	3,350	4,950
未払金	732	1,084
未払法人税等	3,298	1,745
未払消費税等	288	888
預り金	3,077	2,975
賞与引当金	403	134
その他	1,237	1,276
流動負債合計	16,266	16,331
固定負債		
長期借入金	11,400	10,650
長期未払金	827	825
退職給付に係る負債	791	805
長期預り敷金保証金	2,095	2,117
長期預り金	107	109
企業結合に係る特定勘定	1,253	1,253
固定負債合計	16,475	15,761
負債合計	32,742	32,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,774	2,774
資本剰余金	3,090	3,090
利益剰余金	76,186	78,854
自己株式	△1,169	△1,169
株主資本合計	80,882	83,549
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78	50
退職給付に係る調整累計額	166	156
その他の包括利益累計額合計	245	207
純資産合計	81,127	83,757
負債純資産合計	113,869	115,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	31,494	40,236
売上原価	25,544	31,420
売上総利益	5,949	8,815
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	561	568
給料手当及び賞与	1,070	1,098
賞与引当金繰入額	104	116
退職給付費用	16	12
その他	1,173	1,335
販売費及び一般管理費合計	2,927	3,131
営業利益	3,022	5,683
営業外収益		
受取利息	4	7
受取配当金	0	14
違約金収入	5	1
その他	8	7
営業外収益合計	18	31
営業外費用		
支払利息	37	42
その他	2	1
営業外費用合計	40	44
経常利益	3,001	5,671
税金等調整前四半期純利益	3,001	5,671
法人税、住民税及び事業税	836	1,649
法人税等調整額	107	109
法人税等合計	944	1,758
四半期純利益	2,057	3,912
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,057	3,912

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,057	3,912
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△28
退職給付に係る調整額	△5	△9
その他の包括利益合計	△1	△37
四半期包括利益	2,055	3,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,055	3,874
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	不動産 開発事業	不動産 管理事業	建設事業	旅館事業	計				
売上高									
新築マンション売上高	5,803	—	—	—	5,803	—	5,803	—	5,803
中古マンション売上高	20,457	—	—	—	20,457	—	20,457	—	20,457
その他	134	1,014	2,248	273	3,671	—	3,671	—	3,671
顧客との契約から生じる 収益	26,395	1,014	2,248	273	29,932	—	29,932	—	29,932
その他の収益(注) 4	1,503	48	—	—	1,551	10	1,561	—	1,561
外部顧客への売上高	27,899	1,063	2,248	273	31,484	10	31,494	—	31,494
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	88	76	5	175	—	175	△175	—
計	27,903	1,151	2,324	279	31,660	10	31,670	△175	31,494
セグメント利益又は損失(△)	2,658	283	130	△54	3,018	5	3,023	△1	3,022

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融サービス事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1百万円には、セグメント間取引消去△1,998百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益2,036百万円及び全社費用△36百万円、棚卸資産及び固定資産の調整額△1百万円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に連結子会社から当社への配当金の消去であり、全社収益は上記受取配当金、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	不動産 開発事業	不動産 管理事業	建設事業	旅館事業	計				
売上高									
新築マンション売上高	13,350	—	—	—	13,350	—	13,350	—	13,350
中古マンション売上高	20,528	—	—	—	20,528	—	20,528	—	20,528
その他	142	1,081	3,065	295	4,585	—	4,585	—	4,585
顧客との契約から生じる 収益	34,021	1,081	3,065	295	38,464	—	38,464	—	38,464
その他の収益(注) 4	1,711	49	—	—	1,761	10	1,771	—	1,771
外部顧客への売上高	35,733	1,131	3,065	295	40,225	10	40,236	—	40,236
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	18	44	6	75	—	75	△75	—
計	35,738	1,149	3,110	301	40,300	10	40,311	△75	40,236
セグメント利益又は損失(△)	5,176	246	307	△54	5,676	6	5,682	1	5,683

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融サービス事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額1百万円には、セグメント間取引消去△3,002百万円、各報告セグメントに配分していない全社収益3,042百万円及び全社費用△38百万円、棚卸資産及び固定資産の調整額0百万円が含まれております。なお、セグメント間取引消去は主に連結子会社から当社への配当金の消去であり、全社収益は上記受取配当金、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(期中財務諸表に関する会計基準等の適用)

「期中財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第37号 2025年10月16日)及び、「期中財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第34号 2025年10月16日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	87百万円	96百万円